

心算王

創刊 2 号

会報

1991年



東京府立第二高等女学校同窓会
 東京都立竹早高等学校同窓会



篁 会 報

創刊第二号

平成三年四月二十七日発行

発行・篁 会

(東京府立第二高等女学校同窓会)

(東京都立竹早高等学校同窓会)

〒112 東京都文京区小石川四丁目一丁目 董会館内

編集・篁会会報編集委員会

電話〇三(三八一五)六七六五

印刷・(株)ニットー印刷所

〒113 東京都文京区千駄木三丁目三十一

電話〇三(三八二一)〇二一〇

《編集委員》

- 吉岡忠俊(高校13回生)
- 相馬昌子(高校12回生)
- 今永絢子(高校10回生)
- 関文隆(高校10回生)
- 角掛隆(高校10回生)
- 山広俊雄(高校7回生)
- 森本美智子(高校3回生)
- 内山隆子(高校2回生)
- 高木美和子(高女43回生)
- 田川百合子(高女42回生)

平成三年度篁会総会の御案内

下記のように総会を開催いたします。奮ってご出席ください。

- 日時** 6月29日(土)
受付午後1時より(1時30分総会開始)
- 会場** 霞会館 東京都千代田区霞ヶ関3-2-5 霞ヶ関ビル34階
☎03-3581-9151
(地下鉄銀座線虎の門下車5番出口徒歩2分)
- 会費** 6,000円(学生は2,000円)
- 内容**
- ◎総会議事
 - ◎フルート独奏……奏者 菅野サチ ピアノ伴奏：白石光隆
曲目 ビゼー：メヌエット(アルルの女より)
ホルヌ：カルメン ファンタジー
その他数曲
 - ◎懇親会 立食パーティー…3時より
コーラスの集い
皆さんで健康のために歌いましょう。
指導は塩崎佳子先生です。

ご出席の方は同封の葉書で6月10日までにご返事をお願いします。

【演奏者のご紹介】

菅野サチさん：

1988年東京芸術大学音楽学部卒
第1回ミスフルートコンテスト特別賞受賞
日本ハイドンアンサンブルオーケストラ
アンサンブル・ラルブル所属
◎クラシックからポップスまで、たのしいおしゃべりを交えて
妖精のごとく軽やかに演奏します。
それは美しい音の花束を皆様にご贈ります。

白石光隆さん：

1987年東京芸術大学音楽学部卒
ジュリアード音楽院在学中



- ☆今回幹事
高女48回生(昭和23年卒) 高校22回生(昭和45年卒) 高校42回生(平成2年卒)
高校1回生(昭和24年卒)
- ☆次回幹事
高女49回生(昭和24年卒) 高校23回生(昭和46年卒) 高校43回生(平成3年卒)
高校2回生(昭和25年卒)



篁会

会長 愛知 富

皆様そろって平和な新年を迎えることが出来たことを喜んでおりました。クワイエットをめぐり思いもかけぬ争いがはじまり、これから先どの様になるかと心配いたしておりましたが、幸に争いもおさまりほっといたしました。それにつけても五十年前大東亜戦争が始まった当時を思い、現在の日本は本当に有難いことだと思えますと同時に、これが何時まで続くのかという不安も感じます。この会報が皆様のお手許に届く頃には本当に世界が平和になることを祈っております。

永年懸案になっておりました本校の改築も昨年より始まり、工事も大分進んで参りました。卒業生の皆様は古い建物にそれぞれの思い出を持っておられること、思い

ますが、一方ではどの様な校舎が出来ると楽しみでもあります。

創立以来九十年、昭和二十四年に男子を加え竹早高等学校となりましてからも四十年を過ぎましたが、同窓会も近年ますます盛んになって参りました。昨年六月には経団連会館におきまして盛田昭夫ソニー会長様、関本忠弘日本電気社長様、御両人が我々の為に対談をして戴き、世界の中の日本と云うことに関し大変有意義なお話で、私共も大いに自信を深めたと同時に、これからの日本を考えます時、ますます学校教育が大切であることを痛感いたしました。これも盛田、関本両夫人が本校高女第四十七回卒業と云うご縁でありますし、この様に同窓会、同窓生のきづなが、より強く結ばれて参りますことが本校を一段と高めてゆくことができることなのだと存じます。どうぞ本年の同窓会にもごぞってご出席下さいますようお願いいたします。

最後になりましたが永年本校をお守り下さいました諸先生やPTAの方々そして同窓会の方々にも心より感謝申し上げます。存じます。



ご挨拶

学校長 杉内 重信

平成二年の暮から今年二月中旬にかけて記録的などいわれる暖かな日が続いてきましたが、その後二月二十四日頃から寒のもどりが来て、平年より摂氏で四度も低くなり、今後の気温がどうなるか気になるところです。

昨年、本校に着任して以来、多くの篁会の皆様にお会いして、時には厳しいお叱りをいただくことがありました。その中で特に、後輩たちの学業面での状況を函件で感じておられる方が少なくありませんでした。大変有難いご叱責と受けとめ、この点に関しては機会あるごとに在校生に対し、篁会の先輩の方がいつまでも母校をこよなく愛し、その発展を強く期待しておられる証として生徒を戒め励ましております。

現在の東京都立竹早高等学校は

東京都内の普通科高等学校の名門ではありませんが、エリート校ではありません。そのためか名の通った大学等への合格は年々厳しさを増し、難化傾向にあります。今年には比較的良い結果を得ています。物質的な豊かさ、価値感の多様化、家庭生活での過保護、過干渉、或いは自由を取り違えての放任といった昨今の社会的風潮などに竹早高等学校も大きな影響を受けてはおりますが、本校に対する地域の期待には極めて大きなものがあり、私共もそれにこたえるべく日夜努力を重ねております。地元中学校関係者にとっては竹早高等学校は依然として憧れの極みであります。入学した生徒ならびに父母の皆様も喜びと誇りを持ちながら通学しておりますし、私達教職員としては名門校の名に安住することなく入学してくる生徒一人ひとりの資質・能力・適性・進路希望に応じて最大限に伸ばせる教育に向けて指導方法や学習内容に改善・創意工夫を重ねその成果をあげつつあります。

これからも一層のご叱正とご鞭撻をお寄せ下さるようお願いいたします。

篁会総会を終えて



平成二年度篁会総会は昨年六月二十三日(土曜日)、経団連会館に於て盛会に無事終了しましたことを報告させていただきます。

昨年は創立九十周年の佳節の年といつこと、同窓生一人ひとりに総会の御案内をしていたまき、お蔭様で画期的な総会が開かれました。過去の総会の様子をきいてみますと出席者は百五十から二百名前後、そのうち約八割が同じ人達だったそうです。ところが昨年はたくさんの方がいらしてくださいました。

最長老は大正七年卒(高女十八回)ですし、一番若い会員は平成二年卒(高校四十二回)の方で、すべての卒業年度から平均して出

席のご返事をいただきました。これはまさに母校の歴史の厚みそのもので、私共当番一同感激いたしております。

総会は二部形式で行われ、司会

は高校二十一回卒松本和子さん。一部は会長の挨拶につづいて平成元年度の事業、会計、会計監査などの議事報告がございました。

一部は「ビジネスマンの見た日本の将来」について日本経済を支える企業のトップリーダー(ソニー会長)盛田昭夫氏と(日本電気社長)関本忠弘氏との対談がございました。お二人共奥様が当番学年でございませうのでたいへんご尽力頂きました。

国際化が進む中で、現地(国外)に工場を設立して逆輸入するという生産方式のあり方や、日米の経済摩擦やウルグアイ・ラウンドなどで国際的に叩かれていることなどを話されました。そして国際社会に参加するには、相手の社会習慣が無視できない事、またこちらの主張もしっかりすることが必要で、それをどのように行つべきかを、お二人の豊富な経験を元にお話くださいました。対談後、「国際人を育てるために教育者が

どうすれば良いか」の質問があり、留学生受入れの体験などをまじえてお答えくださいました。

対談のあと場所を変えて立食形式の懇親会にうつりました。心づくしの飲物、料理が見事にテーブルに並べられていました。盛田さん、関本さん、お二人とも気さくに皆さんの中にはいつて歓迎してくださいました。懐かしいお顔に会える喜びの輪があちこちで見うけられました。その間、ご来賓の酒(元校長)をはじめ笹山・土屋・小野・加藤・小林(幸輔)・斎藤・中川・藤田諸先生方のご紹介もございました。先生方や先輩方、後輩方とお話しをしていると、夢に溢れた多感な時代がつかいこの間のように脳裡に浮んだ一時でございました。篁会館理事長、関西望



会会長、湘南篁会会長様方からそれぞれ御活躍のご挨拶もございまして、七時過ぎおひらきの時間がきましたので皆で校歌を斉唱いたしました。

友も皆年老いたれどソフランド校歌を唱う女学生のように

(高女二十七回菅多喜子作)

最後に高校四十一回平山本喜之君から、竹早高校の伝統を新生のはさまに立って皆で頑張つて次の飛躍を期す心強い閉会の言葉をうかがって、何ともいえない安らぎを感じたのは私だけではないと思えます。そしてよき友との出逢いを深く感謝いたしました。

総会の当番をして気付いたことですが、出席者の返事の通知を三百四十一枚いたしながら、当日一割のかたが無断欠席でしたことは今後に残す課題といえそうです。今年の企画反貧が来年以降の年に役立ち毎年違つ楽しみ方ができる総会になってほしいと思います。

高女四十七回、高校二十一回、高校四十一回卒の皆様、何度も足を運んでいただき、ご協力いただきましたことに厚く御礼申し上げます。

須藤 芳枝(高女四十七回)

校舎改築概要

事務局長 高倉 靖夫

平成に年号が変わり、はや三年目となりました。現在、竹早高校は、豊かな人間形成の教育理念を実現するための施設設備と、多様化する教育に対応できる建築を旨とし、校舎の改築が行なわれています。

すでに、平成二年九月中旬から十一月中旬にかけて、体育館・部室が解体されました。引き続き、解体された跡地に、第一期工事分である校舎棟(時計台含む)、プールの建築工事が着工しています。順調に工事が進みますと、平成五年二月ごろに完成する予定です。

また、第二期工事には、地下一階、地上二階の体育館棟・外構設備工事が施行されます。すべての改築工事を完了予定は、平成七年七月ごろになります。

なお、校舎棟と体育館棟の一部は、全館暖冷房となり路上の騒音に悩まされず、快適な学習・生活環境を備えた学校となります。

一方、体育館棟は、おそらく都

で初めての、人工地盤で全天候型のグラウンド、また、バレー、バスケット等の実技を行なうフロアは地下一階となります。

一、学校規模 全日制十八学級
定時制 六学級

二、建築計画概要

第一期工事

①校舎棟・鉄筋コンクリート造

地下一階、地下五階
管理室、普通教室、特別教室、食堂(定)

②プール・6コース(25×13M)

第二期工事

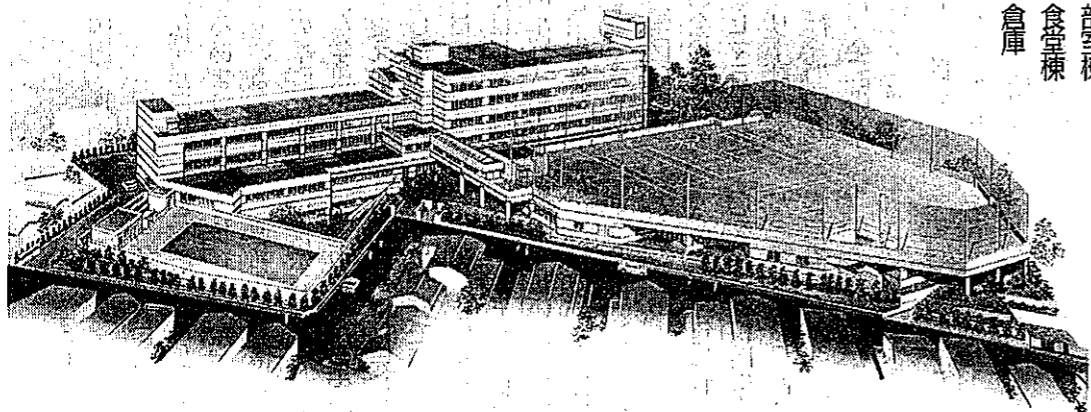
①体育館棟

・鉄骨鉄筋コンクリート造、地下一階、地上二階
上二階建
フロア、柔剣道場
トレーニングルーム、クラブ部室、美術室
音楽室、体育準備室

②外構設備工事

・人工地盤(グラウンド)
ネットフェンス
植栽、雨水利用設備
敷地内一周走れるマラソンコース

完成予想図



都立竹早高等学校(2)改築工事

平成三年度を迎えて

教職員と

在校生の現況

教頭 木村 正雄

本年度も四月九日、入学式(於豊島公会堂、校舎改築中のため)を行い、新一年生、二百六十四名(男女ほぼ同数)が誕生し、生徒総数は八百二十四名となりました。総数も男女ほぼ同数です。

この中には、留学中の生徒は四名、休学して留学していた生徒一名も帰国してきました。留学先はアメリカ、スイスなどです。なお帰国子女は全学年で三十六名で、今年はいンドネシア、オーストラリア、タイ、イギリス、アメリカ、オランダなどがみられます。

全体で、各学年とも六学級で、合計、十八学級です。

教職員は、校長以下、教諭等四十名、事務室関係では、事務長以下七名、嘱託員、非常勤講師など十四名、その外に外国人指導員及び指導助手四名(アメリカ人、オーストラリア人、フランス人、ドイツ人)で英語、仏語、独語の指導を行っています。

生徒は、今年もさまざまな能力をもった者が入学して学習に励んでいます。しかし、先生方の生徒一人一人の能力を引き出す指導によって、伝統ある竹早高校生として育てています。授業を大切に、をモットーにして、授業を欠くことなく、また、授業中は私語もなく、疑問や質問にはわかるまで教えるという、きめ細かな指導は生徒の満足と保護者の期待を受けています。勿論、夏休み、冬休み、春休みにも補講を行なって学力の補充をしています。

クラブ・部活動も盛んです。校舎改築中のため運動部系は文京スポーツセンター、小石川グラウンド湯島体育館などを利用して熱心に行っています。対外活動の面からも各々がすばらしい成果をあげています。文化部系も練習、観劇、実験、研究、演奏会など大いに活躍しています。吹奏楽部が金賞を獲得したのもその好例です。

進路状況は、就職した生徒が二名で公務員です。他は全員進学で東京大学に現役で合格した者も含め国公立大、私立大、短大、専門学校など、好成績をあげています。詳細は集計後にご報告します。

生徒会副会長

になつて

一年B組 岡田 珠子

竹早には、大変長い伝統がありますが、それを重んじるあまり、いつも昔をふりかえっているというのが、入学以来の私の率直な感想でした。私は、そんな学校生活に満足できず、学校を変えようと思つて生徒会に入りました。

十月に今の生徒会役員になってから、会長の声沢さんはじめ、副会長の田中君、会計の小野さん、小手君、書記の柄沢君、佐藤君と協力しているのやってみました。その中には、第四学区の都立高校が集まるつどいの会の実行委員、学校の象徴であるヒマフヤ杉を飾ったクリスマスツリー・計画実現、球技大会企画・実行、生徒会誌「たけたかく」制作、会計の方では予算折衝などがあります。また、その陰にはつぶれた計画もたくさんあります。学校を変えるということは、口で言うほど簡単なものではありませんでしたが、まずは、今のことを一生懸命考えている自分に満足しています。

竹早祭について

一年D組 岩越 宏典

今年の竹早祭は体育館の工事などで、かなり規模が小さくなって行われました。

運動部の招待試合はなくなり、後夜祭もなくなってしまいました。そのためか、生徒の活動もあまり積極的には見られず、成果もあり出ないで、内容の浅い本祭となつてしまいました。

しかし三年生はとても積極的に素晴らしい演劇を見せてくれました。竹の子祭では拍手が尽きず、本祭ではアンコール公演をやるほどでした。

あと、今年竹早祭の門して鳥居を作つて校門に設置したのですが、宗教上の都合で途中で取らざるをえなくなつてしまいました。



竹早の行事を飾る

体育祭

二年下組 金田 一郎

竹早の一年間の中で一番盛り上がる行事と言えば体育祭ではないでしょうか。竹早祭と答える人もいるかもしれませんが、僕は何と云っても体育祭だと思います。

その理由は、全生徒が一緒になり共に汗をかき競い合つ、そんな姿が見られるのは体育祭の時だけです。今年の体育祭も大変盛り上がりました。今年は毎年恒例だった応援ダンスはなくなってしまいました。新しく競技を取り入れたり、変更したり工夫をしました。校舎の改築等で校庭が使えなく、練習が不十分だったりしましたが、そこは竹早生なりに臨機応変に切りぬけて、当日は思わぬ大逆転があったりして、大変白熱しました。

これから行事もますます進み、何かと不自由な点が出て来るかもしれないけれども、僕達はこの竹早高校の伝統ある行事の一つである体育祭を成功させるために、自主自律の精神のもと努力していきます。

先生と生徒

二年B組 小川 ユリ

この学校に入学して驚いたことがいくつもありました。

例えば、先生が生徒の行動に干渉しない。部活動は、部員達が実質的に運営している。行事の運営も生徒が中心になっているなどです。これらに共通することは、自主自律でした。

今までは、先生は、生徒に細かいことまで指示し、何が行事があつても生徒は、ただ従っただけで、自分の考えは、ほとんど無視されてきました。

そういう環境に慣れていた私には、竹早の何もかもが新鮮に見えたものでした。

改めて考えてみれば、先生が生徒を、生徒が先生を信頼し、そしてまた、お互いに信頼されているとこの自覚があるからこそ、自主自律という精神が生まれてくるのだと思います。

いつまでもこの素晴らしい関係が続くことをねがっています。

部活の思い出

二年D組 花田 慶子

初めて校庭を見た時、ここで本当にテニスができるのだろうか、と思つた。実際、難しかった。雨が降った次の日、コート半分を覆つ水溜り、溜息をつきながらスポンジを手にする。水を吸わせては絞り、吸わせては絞り、冬の日

この作業は、悲鳴も声にならない。また、銀杏が落ちる頃は、校庭が何とも言えない臭いに包まれる。しばらくの間は、テニス部の下駄箱を開けるとこの香りがしたものだ。あまり良い環境・設備ではなかったが、私はテニスをしている時、とても幸せだった。

夏の炎天下での部活や、トレーニングなど辛いと思つこともあったが、それでもテニスをできることが何よりも楽しかった。部活を引退してからは益々テニスへの思いは強まった。

今、大学で部活に入るかどうか迷っている。でもきっとまたコートでラケットを握ることになるのだらう。やはり、好きなのだから。

吹奏楽の一年

吹奏楽部部长 大野 謙一郎

今、私達吹奏楽部は、3月末の定期演奏会に向けて全力で練習しています。

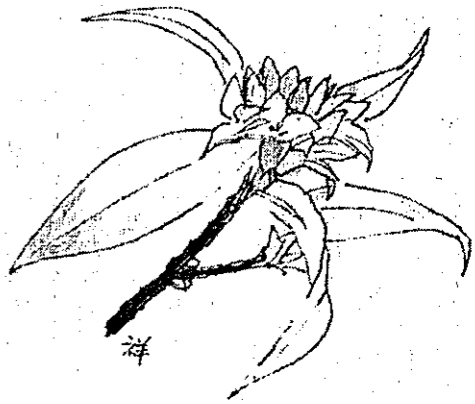
この一年間を振り返ってみると本当にいろいろな事がありました。僕達一年生が入つて来て、運動会での演奏があり、吹奏楽コンクールでは、B組で出場し、金賞を受賞しました。その後も文化祭、地区音楽会、おとと、一番最初に新入生歓迎演奏会もありました。

僕はこの吹奏楽部が、とても楽しそうに見えて入部しました。入学して最初の部会に出た時、先輩方もしっかりといて、楽しそうでした。けっこう盛り上がりつつありました。後で先輩方に聞くと、

(盛り上げようと狙つてたんだよ) などと言っていました。僕はそんな吹奏楽部の雰囲気が好きです。OBの先輩方も、時々来て下さつて、とてもみんな、仲が良い。

これからも全力で練習し、向上していきたいと思つています。

3月28日には定期演奏会を豊島公会堂で開きました。



(財)竹早会

理事長 岩田 隆子(高校11回)
八ヶ岳寮は、宿泊研修施設としての「利用」だけでなく、自主講座がいろいろ企画されており、昨年の活動の一端を紹介いたします。

四月は作陶でオープニングしました。土に興じた作品は、五月の窯焚きに若者たちの作品に混じり、焼成されました。窯焚きも、また楽しいイベントです。薪割りに汗を流し八十時間余焚き続ける千度以上の窯の中の炎はやはり神秘的で魅せられてしまいます。

六月には、医学博士 井坂所先生に「青春を長持ちさせる生活と食事」の指導をいただきました。



医食同源、予防医学、食事療養等わかりやすく講義 ティータイムにはなつめ茶に発酵と三つ煮しパン そのあと体形別に参加者の個別指導 質疑応答。夕食は蒸し粥早寝をしました。翌朝は、早起きをして、散歩と草原の朝露を踏みながら先生(考案の宇宙体操を教えていただき、朝食はいろいろな具を包みながら食する巻巻、そしてデザートはアーモンドでつくった本格的な杏仁豆腐でした。晴れやかなお顔でお帰りになる参加者に、盛り沢山の内容、はじめての手間のかかるお料理に不安と緊張のスタッフも努力の報われる思いでした。毎日の生活を大事にしたいと思いました。

七月には、水に関わるお仕事をしている方々の勉強会。造形作家たちの自己鍛練の厳しいシンポジウム等々に利用されました。

夏休みは、合宿の連続の合間に「作陶」と「草木染め、手紡ぎ、絞りぞめ」の二つの講座がありました。植物採集をし薪を割り、火を燃やして原毛を煮染めして媒染剤で色だし定着させます。原始的な方法で紡ぎます。絹のスクーフの絞りぞめにも挑戦しました。



水と太陽と大地に育てられた植物のエキスを火の力と体を動かしての労働で抽出し、自然の素材に受けとめる、自然の恵みを目にみえる形にする作業だったといえます。自分の作ったスクーフと、そして五十色以上の原毛が夏の良い思い出になりました。(冬のストープの側で糸を紡いでいます。)

九月になると、窯焚きが行われ、いくつも絵画サークルの方々から紅葉を描きに、来賓されました。今年も殆ど同じような活動が企画されています。

一度遊びにいらっしやいませんか、自然の中で汗を流すのは皆さんの良いものです。自由に活用出来るフリースペースとして充実させていたしたいと思います。

維持会員募集中です。詳しくは事務局にお問合せください。

03-3943-2415

(財)篁会館

理事長 吉澤 とよ(高女38回)
昨年久しぶりに会報を拝見して、一所懸命読ませていただきました。から、もう一年たつてしまいました。今年も委員の方々御苦労さまでございますが、よろしくおねがい申し上げます。

さて、篁会館の近況をお知らせしなければならぬのでございませうが、漸く解決のめどがついてまいりました。今暫くお待ちいたしたいと思います。では誠に簡単でございますが篁会館よりの御挨拶でございます。

篁寿会の御報告

小口 郁子(高女24回)
春の陽気もいついかな三月二十六日、竹早高校の前身府立第一高女卒の六十歳以上の会館中、一九三名が学芸会館に集い、先輩後輩共々なやかな宴会会を催しました。何回繰り返しているのしょうか、六十五歳が立当番にあたります。二十六回生(大正十五年卒)小泉節子様(当日は欠席)を会長に年に一回の篁寿会を楽しみにしている方々が多いとつづか

今年も校長先生にお願いして在校生のブラスバンド(毎年コンクールで優勝をしている)部員二十八名が大きな楽器を持って卒業生の為に素敵な演奏をして下さいました。部長の世界史の鴻上先生の指揮により、よく知っている「カレルメン」「ウインナーワルツ」にうつつと、「十七本のトロンボーン」を全員で手拍子を打つマーチにすっかり会場は体をゆすり瞬時少女に戻った様な感傷にひたりました。

来年一年で府立第一高女卒は終りますがこの様な形です。

湘南篁会

湘南篁会会長 神谷美喜子

昭和六年三十一回卒ですので、卒業して早六十年が経ちました。子供を過ぎ孫が社会人になるといふ時になりました。昔の女学校時代は女子としてほれで一区切りでしたが、今は男女共々大学まで進学して研鑽を重ねる女子も各々の才能を生かして社会に大いに進出する時代となり、今更の様に世の変わって行く姿に感無量の感があります。只、女には子育てと言ふ大事な仕事があり家庭と仕事を両立させて行く事はなかなか難しい諸事に遭遇する事になります。かと云って家庭に入りこんでしまつて、有る才能を埋もれさせてしまふのは勿体ないと思はれますし、なかなか男女の同権両立は難問が沢山ある事は含めません。しかし日本の男性の中には婦人の外での活躍に非常に抵抗を感じ、事々に極端に云へば妨害の拳に出

篁会への想い

関西篁会会長 内藤 花

毎年立春をすぎますと、あちこちで卒業式が行われ、やがて桜の開化の頃ともなれば入学式、淋しさ、楽しさ、そして人生への門出となります。若き日の自らの思い出と重なり、改めて母校を、先生活方をそして大勢の友をなつかしみ、来し方の大切な一時期であったと、宝物を抱き緊める思いが致します。六月には恒例の同窓会、旧交を温め、夫々の生活、活躍ぶりを話し合ったり、勵ましたり、時には時事問題などについて意見

を交したり、何かと心置きなくお喋りし、又新しいものに接したりで楽しく生き甲斐を感じ新鮮な心で帰る事も暫々です。篁会報第一号も間もなく拝見出来るわけですが、更に多くの方々の御活躍が、御意見もつかがえまして、又現在の母校の事も知らせて頂けますし、楽しみ、なごさめられ、時に心をつたえます事など、本当に有難いと思ひます。

関西でも委員や当番が色々考え骨折つて居ります。今年の関西篁会は左の通りでございます。何卒何誰でも御参加頂き度う存じます。

日時 六月八日(土) 十二時~十五時

会場 プラザホテル (大阪府北區大淀南二丁目四九)

交通 JR大阪駅北口又は京阪淀屋橋駅上ル西よりプラザホテルサビバスあり (梅田よりタクシー五分)

会費 六、〇〇〇円
当番 高四回 太石 照美

〇〇七二七38(一六三二) 高五回 小林 三子
〇〇七四二48(三〇九八)

たいへんだ。会報の發送には定額、定額一部につき七十一円という制約がありました。出来あがった会報を三つ折りにして、はらいのみ通知票で總會の出欠はがきを同封し郵便局へ走ってチェック、ギリギリサーフの返事をもらい一安心、あとは一万千部を送る作業が待っている。總會の当番幹事を中心に編集委員、同窓生、ボランティアの面々が黙々と仕事にとりかゝりました。「戦争中共同印刷に動員した頃を思い出すわ」という感想も出たり、ともかく女子寮史の風景でした。

かねがない。算会には理事会という組織があります。さて例年の様に議題にのぼっては実現出来ずにいた總會の案内を全会員に通知する件、及び会報の発行を何とか現実のものにしようではないかとエネルギーのありったけをしぼってコーのサインを出しました。が、まず資金がない。思案投首をしているうちに内容のたたき台が出来費用の概算も概め、あとは広告費と算会からの一時金をいただき、会員諸兄弟から

の通信費の払込みに期待して、第一号は出発となりました。特別の寄附を含め三千人に近い払込みをいたゞき、別表の通りの収支になりました。今後共広告、通信費払込みの件よろしく協力ください。むねのうち。本当のところ胸のうちをお話ししますと、第一号は見切り発車した反省が編集委員一同痛感しています。なにせ、にわか編集部というマイナス要因はありましたが、校正の不備、算会館の住所の間違い、封筒が小石川四二二一となっていました。四二二一です。旧職員の方々へ払込み用紙をお入れしてしまつたこと、など注意不足が多々ありました。又、親子、兄弟、夫婦など同居の方々から二通とどいたので今後は一通にして欲しいという要望もありました。体調がすぐれず読むことが不自由だから送らないでくださいという胸の痛むお返事などもありました。封筒の宛先は、名簿会社に依頼したシールを一枚つつ貼って發送するので、その作業の過程で各人の事情を考慮するのは非常に困難なことを、いかに理解いたゞきたいと

思います。十回生の原稿が多いといつて意見もありましたが、この回の方達を中心となって進じたので、その努力の賜と思つていただければ胸のつかえもありません。いづつものです。尚、編集のお手伝いをしてくださる方、熱心歓迎致します。毎月第三水曜日午後八時半より二時間、算会館一階で会合しております。電話03(388)15(0)765です。ご連絡ください。お待ちしております。

らしんばん。今年で九十一周年を迎えた歴史ある母校の同窓会としては、九十余才の長老を頭に若干十九才という幅広い年齢の方達の航海の旅です。問題意識、価値観など、さまざまな点で共感を見出すのはむずかしい作業です。それをふまえた上でこの会報を誕生させ育て、いづつとしております。どうぞ会員皆様様の多大なる関心をお寄せくださる様お願いすると共に、安全な航海が出来ます様、羅針盤となるご意見をお待ちしております。

住所、電話、氏名の変更の折には、算会宛に一報ください。森本美智子(高校二回生)

先生の消息(Q&A)

第二回

中郎 一男 先生 (化学)



同窓会の会員の皆さん、先生の消息連載第二回です。今回、登場していただく先生は、中郎一男先生です。長年にわたって竹早高校の教壇に立ち、特徴のある授業内容で生徒に人気のあつた先生です。同窓生の皆さんからの登場希望が多かつたので、早速お願いに伺つたところ、快諾され、算会館まで、御定勞下さいました。

問……先生、今日はわざわざ算会館まで来ていただき、申し訳ありません。早速ですが、竹早に赴任されたのはいつですか。中郎……昭和二十一年九月です。女学校の最後の頃です。それから昭和四十四年四月に都立化学工業

高校に教頭として転勤しました。昭和四十八年四月より、都立練馬工業高校に校長として赴任し、昭和五十一年二月に定年退職しました。問……定年後は、如何お過ごしですか。中郎……その後、日本女子大で講師を勤め、現在は呑龍学園で若い者の監督のようなことをやっています。問……呑龍学園というのは、どのような学園ですか。中郎……若い者が集まって、ピアノや演劇を楽しく学んでいるよ。問……先生とピアノという、結びつかないような感じですね。中郎……私は師範の時代にヴァイオリンをやっていたね……富山県中を演奏して歩いたものですよ。昭和十二、三年頃の話です。師範の時代には、体操の選手もやっていた、よく試合にも参加しました。もっとも優勝した事は一回もありませんがね。ヴァイオリンを習っていた同じ先生に、ピアノを習っていたのが塩崎先生ですよ。問……先生の「ナカムラ」という字は変つていきますね。「チュウ



ト」と思っていた生徒も多かつたですね。中郎……この中郎という苗字は、私の一族しかいません。練馬工業高校長の時代に、真夜中に電話があつて、生徒が「明日、面接があるのですが、校長の名前を聞かれた時に困るので、名前を覚えて下さい」と聞いて来た事もあつたな。問……先生の授業中の話で、好奇心を持つていなさい。人だかりがあれば、のぞきなさい。情性に流され、のぞかなければ、もしかしたら得られるものがあつたかもしれないものを得られないかもしれないから……と言われたのを覚えているのですが。

中郎……そんなこともあつたね。私の授業は、すぐ脇道に行つたららね。人だかりがあつたら必ずのぞけ、なんて言つて、のぞいて、失敗した事もありましたね。イロイロですよ。問……教育について考えていることはありますか。中郎……そんな大袈裟なことは、考えていません。人間、楽な方へ行つてはいけませんが、無理して高い点を取ることはないと思ひます。合格点だけとればよい。それでも人間、のびる奴はのびる。教育は自由でなければいけない。画一的に管理するのが、一番いけないと考えています。個性的な人間が一番いいよ。問……最近考えていることはありますか。中郎……私は樹には精気があつて思つてます。だから竹早の卒業生は、たまに母校に寄つて、あのヒマラヤ杉を抱きついて精気をあびて来るという……きつと元気になると思つよ。最近の心境としては、死にケイコせん。花の雨(一茶)

Table with financial data for the association, including income and expenses for the fiscal year ending Feb 20, 2003.

通信費のお願い 創刊号については三千名近い人の御協力をいただき、ありがとうございます。皆様のおかげで2号を発行することができました。創立百周年に向けて努力いたします。

母子対談

「おはようございます。楽しんでやっていますよ。」
問……今日はお忙しいと聞いて、あんなに「おはよう」が聞かれました。

インタビューをしたのは、四月三日でした。足が多少、御不自由のようでしたが、大変元気で、颯爽と車をリターンさせ、帰って行かれました。

先生の御住所は左記の通りです。
文京区小日向二丁目三十一番
〇〇三二二九四二―二二五六

担当 吉岡 忠俊（高校10回生）



昭和33年、母と父の思い出の場所。母と父の思い出の場所。母と父の思い出の場所。

母…渡部 秀子（高校10回生）
（昭和33年卒）
娘…渡部 佳織（高校10回生）
（平成9年卒）
インタビュー―

角掛 隆（高校10回生）
（昭和33年卒）

角掛…今日はお忙しいところ時間をさいていただきまして、有難うございます。お二人の都合と私の都合がうまく会わず原稿締切りのギリギリのお願いで申し訳ありませんでした。

この企画は編集会議で先陣方から、府立第二高女から都立竹早高校と変わりましたが、同窓会が主催として毎年六月に行われ『母子で竹早なんて結構居るんじゃない』と言った話から始まった企画で、出来れば日本列島卒業生シリーズの様に毎回やりたいと思います。親子二代又は三代なんて面白いと思うし、時代の移り変り等が解っていいと思います。
ところで三年前位前、渡部さん、

貴女からお聞きしたんですが、お嬢さんが竹早高校に入学されたとき大変喜んでいらつしやいましたね。親子（母子）そろって同じ高校とか同じ大学とか、よく聞きますが、私立高校や私立大学では多く、公立高校でしかも女子の名門公立高校では数少ないと思われるので、感慨一入でしょうね。そのころをお聞きしたいのですが。

ですが、小さな頃から竹早高校のことでは聞かされていきましたので、ただ懐然と「いい学校なんだろっなめ」と思っていましたし、やはり昔からの名門校というところで喜びでいっぱいでした。
秀子…やはり母校愛と云うものでしょうか、誇りに思っていますので、女の子だし、私の場合、住居も所も同じという事で、行けるものなら、どうしても云う



まず、入学した時の感想をお聞かせ下さい。

佳織…入学した当初私自身は親子二代で同じ学校だということに対して特に感慨はなかったのですが、

より、当然入るものと思ってました。
入学式の時の「ヒマラヤ杉に新芽萌えて」と合唱団は胸にシーンと懐しく、又我を忘れて自分

の入学した時と重複して、口ずさんでしまいました。

角掛…卒業した時の佳織さんの感想をお聞きしたいですね。

佳織…二三年前竹早高校で過ごしてきて、ここに親子で来るという珍しさは貴重なものだと実感しました。

現在の竹早の校訓『自主・自立』は私にしっかりと根づいたと思われま

す。やはり、母と同じ学校を卒業できたことは、何よりも変え難い喜びでした。

角掛…なるほど、そうですね。今佳織さんが言われた『自主・自立』ですが、私の高校時代はあまりそうだった事を自分自身に感じた事はなかった様に思います。

『かなひのいりかげんに生まれて』『せいか、自分自身結構』『自主・自立』をかつてにやっていた様な気がしますね（笑）その言葉は先日、愛知知事長が、府立第二高女時代の校訓は『質美剛健』だと言っていました。たす。

では、佳織さんが卒業した時のお母さんの感想をお聞きます。

角掛…お母さんは私と同じ昭和33年卒ですが、在学時代の想い出

秀子…これでいよいよ竹早ともお別れと思うと、とても自分の時

より淋しい思いでした。

子供の学校で云うより、愛校心の強い私には、娘と一緒に入学

し、卒業したと云う思いです。まるで自分の事のようにでした。

殊に二番目の子ですので、学校との縁もこれが最後なので。

角掛…お嬢さんの在学時代の想い出、又は学校の様子などお聞かせください。



佳織…竹早高校は学生運動が盛んだったころ、生徒が勝ったというところで、生徒の自主性が非常に重視されていきました。

ですから今現在も生徒活動は活発ですし、生徒の自覚もかなりあった様でした。

そんな雰囲気は私にはよく合っている張らない高校生活を送ることにができました。

はいかがですか。

秀子…あの頃は、ただ夢中でした。何か？と云うと、中卒者の多い

中、高校へ行かせてもらうだけで幸せと思わなければならぬ

時代、義務教育外の教育をさせてもらうと云うことは、大変だったのです。

親に感謝しつつ、一生懸命勉強するのだと、向学心に燃えていましたね、皆が！

角掛…私と同じクラスになった事は、たしかなかったと思いますが、

が。

秀子…男性と言つより、男の子と云う感じでみていましたから、同級ではなかったと思います。

今では男性は、皆さん立派になられ、信じられない位です。昔のアルバムと並べてみて初めて、思い当るふじがある、と云う感じ

です。うーっ、男性はすばらしい、と思えました。

先生方が又々熱心で、ほんとうに心から尊敬してました。

試験の答案の裏に人生相談を請うたり、親身になって答えて下さった。

先生に親しみ、よく教員研究室へ遊びに行きました。

角掛…その他、お嬢さん、又はお母さん、ご両人が学校について何かお話しする事がありましたら、お聞かせ下さい。

秀子…制服が、時代の流れていっ

つが、私服になったりで、常に着ていないと言つのは淋しいです。

しかもあの憧れた女子のネクタイ、毎朝結んだものですが、今はあまりしていません。

ネクタイの結び方で「二・二・三」年生と解る位でしたから。

新校舎が出来るとついで、おめでと云うございます。シンボルの「マラヤ杉」だけは、立派に映えるようにして欲しいです。

佳織…私は竹早高校が大好きです。ずっとこのまま竹早の思い出で欲しいと思います。

角掛…今日は大変お忙しいところ、有難うございました。

これから、竹早の校風を愛して、いつまでも元気で活躍して下さい。

角掛…今日は大変お忙しいところ、有難うございました。

これから、竹早の校風を愛して、いつまでも元気で活躍して下さい。



松島 美弓(高校十七回生)
(昭和40年卒)

入学したのは、今から三十年前、正確に言うと二十九年前のことである。当時は今と違って、男子は詰襟、女子はネクタイを三角結びにしたセーラー服で、スカート丈のこと、運動靴のはき方までうるさく言われた。まして、遅刻など論外で、朝、時々先生方が校門の前に立っていて、遅刻した生徒の生徒手帳を取り上げ、あとで職員室に受取りに行くこと、こっぴどくしかられたりした。それがいやで、妻の竹早小学校の垣根を乗り越え、教室に飛び込んだのも、今では懐かしい思い出である。

それ程厳しい校則ではなかったが、それを破るには、かなりの度胸とフリルが伴って、特に一年生には、学校生活のスパイスのようなものだった。

授業にしても、名物先生とか個性豊かな先生方がたくさんいらして、退屈することがなかった。附属中学との同居で、校舎も校庭も

体育館も充分には使えず、特に体育やクラブ活動では、不自由な思いもしたが、それらの総てが懐かしい思い出である。

私ばかりでなく多くの友人達が、竹早時代は本当にのびのび自由に過ごせたと言つ。何年かぶりで会う同期生との話題は、いつでも楽しかった学校生活のことであり、そして話が進むにつれて四十才半ばのオバさんも、いつの間にか十代の高校生に戻ってしまう。

最近、一般に都立高校は自由すぎて放任になっていると言われているが、竹早高校は、先生方の目が行き届き木目細かな指導が行なわれていると聞き、我が母校の伝統も受けつがれていると思つて、やはりうれし。

この四月、一男が入学する予定である。三十年たつても懐かしく思い出せるような三年間を送つてほしいと、心から思っている。



いる。情報過多に若い母親達は翻弄され、早く我が子を軌道に乗せる為に、子供の生命力を信じ、好奇心を大事に育てる事よりも、マニユアルを求めてしまう。私達は子供の頃、日の暮れるまで遊び、夢中になる事も、人間関係も、遊びの中で学んで来たように思つ。然し、昔は昔。今は今。嘆いていても仕方がない。

「私に出来る事で子供と遊びたい」「子供によいものと出逢わせたい」「子供をわくわくさせたい」そんな想いから、人形を創作している。お話しの不思議な世界、美しい世界、怖い世界、それを大好きな先生の肉声で演じる。幼い頃に受けた感動が体のどこかに積つて、いつの日か甦り心豊か人になつて欲しいと希っている。



遠くて近い竹早

茂田 十郎(高校六回生)
(昭和29年卒)
竹早高校を卒業して37年、福島

今の竹早に残るもの

荒川 智行(高校二十五回生)
(昭和58年卒)

昭和58年3月、竹早高校より巣立ちごくありふれた同窓生の一人となった。そして、昭和63年4月再び竹早の校門を教員としてくぐるようになった。

「新採用ですぐ母校に帰るのはめずらしいな」とよく言われたものだがそれもそのはず、竹早90数年の歴史で大学卒業後すぐ竹早で教員となったのは実に50年振り、戦後初というところであることからもつなづける。もう一つつけ加えるなら、戦後一番若い教員が竹早に来たとも言える。

90数年の間、時代や社会も移り変わり、それに伴い生徒、教員、そして校舎も変化している。もちろん私の生徒の頃と今とでさえも全然違う学校の様に見えることもある。当然私よりも年輩の方は更にそう思われるに違いない。しかし、本心で違つたのであろうか?いくら表面的に違つても変わることはないものが、ひまらや杉の木は昔とは

市に住んで18年になります。卒業以来、渋谷の日赤病院で一年間のインターンをした時を除いてずっと、東北地方に住んでおりました。いつも東京へ帰りたいたいと思ひながら、いつしか竹早も遠い所となつてしまいました。

私は昭和28年に編入生として竹早高校に入りましたが、転校前の高校(茨城県の下妻一高)に比べて、女子生徒の多いこと、英語と国語の授業レベルが高いことに驚きました。私は田舎ものでしたから、担任の角川先生には、いつも細細と礼儀作法の御指導を頂き、返信用の封筒の、「行」は消して「様」に書き直しなさいとか、今でも心に残ることを教えて頂きました。

高2のときに、A・J・クロニン「の『城番』という小説を読んで医師になりたいと思ひ、東北大学の理学部を経て福島県立医大に入りました。卒業後は再び東北大へ戻り医学部で小児科を学びましたが、ウィルス学の研究が面白くなつて基礎医学へ転向し、現在は母校の福島県立医大で、微生物学の教育とウィルス病の治療の研究を行つて居ます。

違っている。だが確かに昔からあったひまらや杉の木である。改築後もこの木は竹早にずっと残る。



手作りの人形

子供達に「LOVE・CALL」
長縄 泰子(高校二回生)
(昭和25年卒)

私が竹早へ入ったのは一九四四年(昭和19年)。太平洋戦争の戦況が日毎に厳しくなり、上級生は勤労動員で留守。担任の先生は出征され、秋にはB29の空襲が始まり、一人また一人と疎開してゆき、明日にでも勉強が出来なくなるかもしれないと云う危機感の中で、自分が一気に大人になって往くのを感じた日々。翌年疎開先で敗戦。竹早は戦災を免れ、被災者で一杯との報に、家もないのに東京へ

福島医大は明治10年に開設された須賀川医学校を母体としますが、一時廢校された後、昭和19年に再興されて創立50年になるうとしています。福島市は上野から新幹線で一時間半の距離にあり、市内に3つの温泉街と3つのスキー場を持つ田園都市です。近年、東京の高校からの入学者が急増しましたが、どついつい訳が竹早高校からは入学しないので残念です。

私も学会などで月に一回位は上京しますが、大塚や茗荷谷の駅を通ると竹早高校の頃を思い出します。運動会にフォークダンスをしたこと、音楽室に忍び込んでピアノをいたすしたこと、屋上に登り東大の森を眺めては憧れたことなど、まだ去日の事のように覚えております。隣の席だった樋口君、坊主頭だった橋本君、源氏物語の厚い本を抱えていた岡川さん、ピアノが上手だった後藤さんなど、皆様、いまもお変わりないことと思ひます。私の住んでいた東十条の家は人手に渡り、もう東京に戻るよすがも無くなりました。しかし、遠く離れていても、いつも真近く隣に浮ぶのは、竹早高校のヒマラヤ杉です。

卒業生インタビュー

近藤 君江 (旧姓岡部) (高校20年生) (昭和43年卒)

結婚式の翌日、北海道道民となり、十三年の年月を過ごしました。静内に参りましたのは、北海道大学農学部教員である夫が、当地にありませぬ農学部附属牧場専任となった三年前です。

静内町は北国北海道でも太平洋側に位置しますので、雪も少なく比較的温暖な地域です。

北大牧場に隣接して農林水産省の牧場がありますが、以前は御料牧場でしたので、今も皇室の別荘であった龍雲閣という古い木造の建物が残っています。龍雲閣へ通じる道は、二十間道路と呼ばれ八千口直線の桜並木、花の季節には延々と続く桜、桜...はいかにも北海道らしい雄大さです。

静内町をはじめこの日高地区はサンプレッドの産地として有名で、いたる所、美しい草原で姿も値段も兎事な馬たちが草をはんでいます。ここ北大牧場は、海辺の町静

内の中心部より、住宅地やいくつもの馬牧場、牛牧場を通りすぎ十八キロ程、山側へはいった所があり、都民の頃の私には想像もできない立派な僻地です。キタキツネやエソシカが車の前を横切ること珍しくありません。秋に雄鹿が雌を呼ぶ声はたいへん美しいものです。白鳥たちがVの字型になって我が家の上を通り過ぎたこともありました。昨秋は我が家からも見えるデントコーン畑にヒグマの足跡があったとか。動物だけでなく春には様々な山菜、野の花、秋には木ノ実、茸と自然の恵みにあふれています。春のニリンソウ摘み、秋はコクワの実を味わった後にそのツルをリースに編むのが私



竹早エコー

こんなことを やってまーす

第二号会報に第二高女及び竹早高校の同窓生の動静をのせることになりました。なにしろ初めての事で、どこからどう手をつけてよいものか、ない知恵を絞り、次の方法により、会員の皆様より情報をいただきました。

◎方法：会員名簿の幹事の中から適宜各学年一名(平成元年は除く。また昭和三十一年は二名に

- なつてしまった?)を選び、アンケート方式でお応えいただく。
◎アンケートの内容.....
① 卒業後の活動、行事。
ある なし
② あるに○をつけた方は活動、行事内容を簡略にお書きください。

- ③ 今後(一九九一年六月以降)の活動、行事予定。
④ その他、ご意見、ご希望。
以上の方法により、集ったお便りを紹介いたします。お便りをお送り下さった方々のお名前と連絡先を念のため、付加しておきます。(敬称は、はぶかせていただきます)

★大正3年卒★

深沢 てる

④、大正三年の卒業で私ともう一人だけ。推して知るべし。何もお知らせする事もありません。九十五歳ですもの。二号が拝見できそうなのが、望外の楽しみ。委員(一回)苦勞様。御礼申し上げます。先輩諸師のご消息を知りたいと思いますが無理でしょうね。存じあげた一回以降の方々、全部物故されました。私事ながら、私も只今のところ、自分用は人手をかりず、毎日、散歩も庭いじりも、自室の掃除位はしております。読書も暇つぶしの最大の楽しみ。曾孫の小学生の相手もやっています。

★大正4年卒★

山崎 操(代人今村春子)

旧高女十回卒、山崎操、昨平成二年三月十四日に死去致しました。九十三歳でございました。いつもいつも竹早を心の誇りとして、一生を終えました。

の楽しみとなっています。町までの道のりも、車と信号の少ない直線道路のおかげでそれほど時間がかからず、美しい僻地にて、毎日が別荘暮らしと思っております。

北大牧場は面積約五〇〇ヘクタール(およそ一五〇万坪)、肉用牛(ヘレフォード種)約一五〇頭、軽種馬(主にサラブレッド種)約三〇頭、北海道和種馬(いわゆるドサンコ)約五〇頭があり、夏・冬に農学部畜産学科の学生が牧場実習、大学院生等が研究のための実験を行っています。ちなみに夫は牛や馬の行動を研究しております。

子供二人は、小学生で八キロ離れた小学校へ通っています。数年前、いくつかの分校を統合した新しい学校で設備は最新、登下校はスクールバスです。子供たち(大人も)は札幌近郊に住んでいた時より、歩かない生活になってしまいました。道草をくったり寄り道もできません。自然にあふれた環境にいながら、野山で遊ぶことは、決して多くはなく、親としては物足りない思っています。こういう地域です。友達の人数に限りがあることも一つの理由ですが、自然を

★大正10年卒★

浜田 文字

①、昨年、秋は米寿を祝う気持ちもあって、クラス会が開かれ、七名の出席でした。残り九名の近況もよくわかっております。皆、老化現象が増して来ましたが、励まし合っております。

★大正11年卒★

向坂 雪子、淵脇 トシ

④、ご丁寧なご案内を下されど、うも有難うございました。私どものクラスは一度、金業先生方が女子スポーツについて活動をおはしめになったばかりの時代で、当時としては活発な四十四名が卒業致しました。道は「良妻賢母は一筋」でしたので、クラブ活動など思いもかけぬ時代でした。

★昭和2年卒★

現在 十一名の中には、俳

優の村瀬幸子、茶道の峯島輝子、日本では女子医博七番目の岡本さかき等があります。ご要望には添えませぬ、残念でございます。



相手に遊ぶには、昔の子供社会にあったような縦の関係が大切なものかもしれません。

竹早高校時代から大学、都庁(消費者センター試験研究室にて食品添加物の分析)でも美術部に所属していましたが、絵らしい絵も描かず描けずすぎてしまいました。この地で誘って下さる方がいて公民館のおばさんサークルで久しぶりに油絵を描く機会をもちました。まわりの主婦たちのパワーは迫力があり、それにひきずられる形で、今までになく真面目に絵にとりくんでいる昨今です。この地に住んだ記念にいつの日か日高らしい風景画をしあげたいものです。

★大正12年卒★

高沢 君子

④四七〇一七五二九 昨年11月28日、母、大熊高子は死去致しました。

★大正15年卒★

木村 陽江

④四七一六七一四六五一 一年に一回クラス会開催。15~20人位出席。簞会の歌舞伎座での歌舞伎観賞に参加。(年毎に出席者が減少)簞会総会または簞寿会に出来るだけ出席するようにしている。
③、八十二・三歳にもなりますので、この先いつまで出席出来るますか?
④、第一高女卒業といつことを誇りに思っ行動しております。

★昭和2年卒★

竹中 絢子

④四四一九六六一七三八六 昨年九月、八十歳を祝って集まりました。新宿の車庫。二十名集まりました。団結力強く、お互いに電話で無事を確認しあっています。私も三月に八十二歳です。交替で幹事をやっています。 次は

木村あい子さんです。

④、お手紙下さり本当にありがとつ。足が不自由ですが、身の回りの事は一人でやっています。

★昭和3年卒乙★

荒井 きく

① 〇三二二九七一―九六一〇
②、明治生れの八十歳です。特別な活動はしてありません。ただ年三回のクラス会を開いています。クラス全員が健康で毎回十八人位出席して楽しい会合です。

★昭和4年卒申★

中村 綾子

① 〇三二二七五二―一五九〇五
②、毎年五月下旬頃クラス会を致します。場所は主に東京、たまに京都、名古屋、横浜等でいたします。本年は傘寿を迎えることになりましたので、集まれる者が少なくなりました。

★昭和5年卒申★

内山 信子

①、なし
〇三二二四八二―一五五三二

してあります。

★昭和14年卒紅★

小沢 美枝

①、なし
〇三二二四〇八一―一四五一

★昭和15年卒紅★

稲葉 良子

① 〇三二二九九九―一四七〇三
②、わたし達昭和15年卒業生、紅・白2クラス百名は国が戦争に向ってひた走る時の学窓五年間でしたので、今でも強い絆で結ばれているのではないかと思われます。毎年のクラス会は欠かさず開催してきましたが昨年は卒業五十年と柏木先生の九十歳のお祝いを致しましたが、何れもちよつと計算違いでは無いかと、お互いに顔を見合せた次第です。
③、毎年クラス会を開催。
何年目かに一泊旅行。



★昭和6年卒申★

梅浦 純代

① 〇三二二八二六―一〇六一八
②、年一回甲乙それぞれクラス会をしておりましたが、ここ数年来、合同クラス会をもつようになりました。会費六十四名中二十名前後集まり、楽しいひとときを過ごしております。私も昨年、喜寿を迎えました。子供は勿論ですが、孫も成人いたしましたので、それぞれスポーツに、社会奉仕にと充実した日々を送っております。歌舞伎観賞会にも参加しておりますし、筆会・筆寿会にも必ず何人か出席しております。

★昭和7年卒乙★

諏訪 静子

① 〇三二二九四一―一六四三九
②、一年に一回クラス会をしております。現在、東京・地方



★昭和16年卒紅白★

東海林 晴子

① 〇三二二八二一―一四〇七九
②、毎年クラス会を開いております。(一泊の場合もあり)十五名のメンバーで月一度集まっております。ストレス解消のおしゃべりと情報交換、その中で四・五人づつ二・一泊の旅行など。
③、クラス会、月一度の集まりはずつと続きます。
④、同窓会を各学年の様子を知りたいと思います。

★昭和19年卒紅白★

中村 優文字

① 〇三二二八二一―一六三四九
②、一年に一回クラス会を開き

で二十七名ですが、出席は十五人前後です。

③、今年は喜寿という年で五月六日頃お祝いの会をしたいと思います。計画中です。

★昭和9年卒申★

竹内 富子

① 〇三二二二六〇―一〇九二二
②、年一回程度のクラス会をする程度ですが、個人では俳句に染色に趣味の域を越えられ方もおられます。病氣の方々も増え、年々ご他界の方もあり、年を感じます。

★昭和10年卒紅★

吉沢 とよ

① 〇三二二九六〇―一〇三二七
②、私も七十歳を越えておりますので、活動、行事予定はありません。



ます。写真は昨年(一九九〇年)十月十八日のクラス会のものです。

④、本年もクラス会を予定。日時は未定。



★昭和20年卒★

石本 光子

① 〇四六七一―三二二二八三
②、二年に一度、クラス会をいたしております。(若竹会)

★昭和21・22年卒★

吉田 暎子

① 〇四八二五二―一七三三五七
②、同期会を行なっています。一時中断していた時もありましたが、ここ数年前からは毎年。(昨年は総会幹事学年のため中止)
③、秋に同期会の予定。

★昭和11年卒紅★

山崎 照

① 〇三二二三七二―一六九八六
②、年に一度はクラス会を催しています。二十人位集まります。病氣の方にお見舞いの書きをお送りします。卒業五十周年には紅白合同一泊旅行、箱根の吉池で行ないました。



★昭和12年卒紅★

福田 耀子

① 〇三二二九四二―一八九八五
③、秋に親睦のためのクラス会のみ。私どもの年齢になりますと、健康で再会できることに大きな意義と幸福がございます。

④、ご多用中を筆会のため、お骨折り下さいまして有難く存

★昭和23年卒★

北島 末子

① 〇三二二三八二―一〇〇三三
②、毎月一回コーラスの集いをしております。恩師の塩崎先生のご指導のもとに約十五名程集まって、大変有意義な明るい時間を過ごしております。
③、このコーラスの集いを長く続けて参ります。

★昭和24年卒★

菅原 光枝

① 〇三二二三八二―一〇〇八二
②、私も高女49年生と高校2年生は卒業年度は違いますが、入学は一緒なので、毎回一緒にクラス会をしています。平成元年には初めて、諏訪の温泉一泊旅行のクラス会をいたしました。

③、平成四年には総会のお当番が回ってくるので、昨年十一月十日には、そのためのクラス会を開き、皆さんに協力を呼び掛けました。

★昭和25年卒★

井上 よしみ

① 〇三二二九四七―一四五六六
②、同期会……同時入学で卒業は異なる高女49回と高校2回

の同期会を三年ごと位に開催。平成二年十一月十日に池袋で開きました。

③、平成四年(一九九二年六月) 算会総会の当番学年のため、随時、委員会を開く予定。現在のところ総会の準備委員は十数名。

④、会報で各学年やクラブOB、OG会の模様かわれば幸甚。

★昭和26年卒★

御代 喜久子
 〇三二二九九一四二六〇
 ②、二三年に一回位、同期会を開催しております。当番はまわりもちです。

③、今年は一六六三年三月卒業後四十周年を迎えることになりました。また、平成五年には総会の当番学年となりますので、ひとりでも多くの方の参加を期待して、秋に同期会をもちたいと思っております。

★昭和30年卒★

志賀 真砂子
 〇四一九一八一四二五
 ②、二年に一回、もちまわり幹事の設定により同期会を開催しています。参加者は多いので六十〜七十名(こ都谷のつ

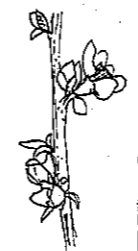
く担任の先生を含む)。少ない時は三十〜四十名位です。③、九月に(日時は未定)同期会をもつ予定です。

★昭和32年卒★

小島 久美
 〇三二三八一六一七七七九
 加川 美津子
 〇四七四一三二八一六九二二
 ②、卒業以来はじめての新九回卒の同期会を竹早九算会と名づけて、昨秋(平成二年)十一月十八日にNHK青山会館で開催しました。春の算会総会の時から、各クラスの世話人が集まり、当日は五人の先生方を中心に九十余人の仲間が会場いっぱいに歓談し、ビンゴゲームなどで十代の当時にタイムスリップしました。

※同期6クラスの名簿も発行しました。

③、これから、一年おきに同期会を開催することにし、次回に向けての幹事も決めました。同期会の際には、クラス会を開けたらという計画です。



★昭和34年卒★

種田 紀哉
 〇三二三八一一七二〇五
 ①、なし

★昭和35年卒★

浜 加代子
 〇二六六一五六一三七二五
 ②、一九八九年九月にクラス会(担任青木茂先生)がありました。一九九〇年に同期会がありません。

★昭和36年卒★

吉岡 忠俊
 〇三二二五六二四〇五五
 ②、毎年秋クラス会(Eルーム)をやっています。
 ③、本年も十月二十六日(土)中野会を開催予定。御連絡お待ちいたしております。

★昭和40年卒★

対崎 俊一
 〇三二二五九四二一一八九六
 ②、六・七年前に学年全体の同窓会を茗溪会館で開催し、なかなか盛況でした。その時は各クラスから、数名の有志を募り、準備しました。その後一年に一度はやさうという

ことになって、一回目も同様成功しましたが、二回目まで続かず息切れ状態です。

★昭和42年卒★

小野沢 旬子
 〇四七四一五〇一九二四六
 ②、一年に一度、同窓会を開いています。

★昭和44年卒★

内山 和江
 〇四一九一三二一六一四八
 ①、なし

★昭和45年卒★

芝村 洋子
 〇四七三二九七一八八八
 ①、なし
 ③、なし
 ④、私達の就学時は特別の状況下にありましたので、先輩方には申し訳ございませんが、卒業生としての活動は一切無用との意見を確立し合っており、別れたものです。ご理解戴くのは難しいとは思いますが、それはそれで自然だったのです。卒業から二十十年になりますが、一度も一堂に会した事はなく、それが問題にもなりません。今後同じだと思えます。輩会を一生懸命維持なさって

ださっている皆様には大変失礼な事を申しあげるので心苦しいのですが、私達のような後輩を仕方ない奴等とお見捨て下さいませ。

★昭和54年卒★

八島 等
 〇四一四一三二一八七九九
 ②、卒業後、毎年一回クラス会を行なった。皆が社会人になってからも、一年おきにクラス会を行なっている。
 ③、今後もクラス会を行なう予定である。

★昭和56年卒★

津田 和子
 〇三二二五九四六一二八六八
 ①、なし

★昭和57年卒★

守谷 三佐子
 〇三二二五九四二一一八九四七
 ②、五月の第二土曜日……クラス会(パパで飲んでカラオケをする)
 十月十日(女子のみ)……「10・10・10サミット」という名のもと毎年十月十日十時に池袋東武の通称「36面」(今では違う名前らしいけど知りません)に集まる。『今



★昭和33年卒★

角掛 隆

〇三二二三八二一〇二二〇
 ②、私達、ただいま花の五十一歳! 三十八〜九歳頃より同期会を二年に一度位に開催しています。昭和六十一年頃から姫木平のロッジ・ファミンゴに毎年六月初旬頃、一泊旅行。今年は二月十五〜十七日に奄美大島へ有志十三名で旅行。その他、歩く会、花見飲み会など、よく集まり、よく遊び、励まし合い、助け合っています。

③、同期会は来年の予定。本年は恒例の一泊旅行が六月八日にあります。秋には台湾旅行来年はハワイ旅行の予定。(ただし、世話人がいない場合はおながれの公算あり)



年も10・10・10に36面ね」と電話連絡が入り、ヒマな人が集合してお喋りをします。去年はクラス報を作りました。十一月の第二土曜日……フランス料理を食べる会(デイナー)。女子有志で高三の時から続いています。去年は記念すべき第十回を迎えました。物価上昇で二万円程度だった会費が、ついに二万五千円になりました。これからはランチを利用するなどして、主婦となった人でも来られるようにしようと話が決まりました。
 ※写真が十回記念です。
 ③、私たちは「元E」の仲間として卒業後もずっとながよくつきあっています。この他にもいろいろ、こまこま、会費があり、他クラスからつらやましがられています。

★昭和61年卒★

若原 美子

〇三二二九四九一五八二八

①、なし

★昭和62年卒★

辻野 頤子

〇三二二八二二一七九六二

②、昭和六十二年三月卒業の三年Cルームのクラス会を今までに二回行なっています。また、昭和六十一年三月および六十二年三月卒業の演劇部OBのコンパも二回行ないました。

★生物部★

西 徹夫

〇三二二三四一八四三〇

②、一九九〇年七月一日、新宿三井クラブにて生物部O・B会が催されました。辻先生、三下先生等して五十九名の部員が集い、和やかな楽しい盛大な会になりました。

③、今回のOB会は四十四年度卒業までの方々への呼び掛けとなりましたが、今後、名簿の整理を進め、数年後にOB会を催すという事になりました。



1990.7.1 新宿三井7521にて

名前には旧姓、敬称略

★バレー部★

山広 俊雄

〇三二二八二二一七九六二

②、会長……山広俊雄

(高校7回、昭和30年卒)

副会長……清水愛子

(高女43回、昭和18年卒)

副会長……高橋政行

(高校25回、昭和48年卒)

会計……町井佐和子

(高校35回、昭和58年卒)

昭和六十年、それまで個々に活動していた高女と高校の会を一つにして現在にいたっています。会員名簿(60年発行)会報発行(62年より)、会員数約六百五十名、年会費二千円(学生千円)。総会初夏五月と初冬十一月、昼間はプレイ、夜は懇親会、尚、初夏の折は、高女の方々を中心に昼間の懇親会も開催、参加者数六十〜九十名、新旧の顧問の先生、コーチの先生方にも参加していただいています。また、春、秋の文京区の大大会に出場、過去には男女アベック優勝等輝かしい成績もあります。なお会員よりの年会費は会報発行、文京区大会参加費などの

トピックス

中山由利子さん(平成元年卒)第七回 土光杯 全国日本学生弁論大会で「最優秀賞」に輝く！

外、母校のバレー部への援助も行なっています。 ③、今年の総会は母校の体育館が改築の為、取壊された関係で、六月二十日(日)に開催します。 年度幹事 真下 由美子 〇三二二九五五二七二六八

御礼とお願い

アンケートの文面が不備であったにもかかわらず、予想以上の回答をいただき、心から感謝いたしております。特にご高齢の方々は、竹早の後輩からの手紙(失礼があったことお詫びします)をとっても喜んでいただきました。また、このページの趣旨にも賛同いただきました。

第三号も引続き、このページを設け、紙面を充実させたいと考えております。それには会費各位のご協力が是非とも必要です。幹事の方に限らず、いつでも、だれでも、情報をお寄せください。

会報委員の方々あて、もしくはこの欄の担当者までお送りくださるか、お電話ください。

担当 今永 絢子(高校十回生) 〇四二一九一三六一二九五五

今後の会報について

算会副会長 関 文隆

創刊号を発行してみても会員の皆様全てに総会のお知らせ、学校や算会の現状をお伝えすることが出来ませんでした。沢山の方より喜びの言葉やらはげました言葉をいただき感謝しております。

しかし私達委員は、もっと会員相互のお役に立つ中広い情報を企画したいと思っております。たとえば会員の中で社会に於いて活躍なさっている人達の情報、スポーツ・芸能・文壇等マスコミで知られてる方々や、ホテル・ペンション・レストランなどお店を営んでいる方、文化部体育部のOB会クラス会、学年会の集りの話や幹事の連絡場所、あるいは詩・俳句・短歌等の寄稿、旅行会(国内・海外)の企画や募集、ゴルフやスキーの計画等会員の楽しみになることならなんでもお知らせ下さい。平成四年五月発行の第三号に編集して載せたいと思っています。

お便り苦情等は年一回の発行なので間違い、聞き間違いがあるといけませんので電話ではなくお手紙かハガキにてお寄せ下さい。編



製紙 さしえ 伊藤洋子(高校十回生) 文中カット

NEC

ここらのふれあう世界、ひろげたい。

C&C
Computers and Communications

日本電気株式会社

SONY

見るのも、録るのも、すっごく楽。
ソニーのVHSハイファイ
「ゴク楽ビデオ」

操作が、すっごく楽な
ゴク楽ビデオ
GOKURAKU Video

新発売 VHSハイファイビデオデッキ 標準価格 **69,800円** (税別)
●液晶予約リモコンRMT-V101付属

KIYOSATO

八ヶ岳寮

会議に 宿泊研修に ゼミナールに
豊かな自然と充実した施設

◆施設のご紹介

10,800坪の自然林に鉄筋コンクリート二階建てのセミナーハウス
(40人の宿泊施設、ホール、ピアノ有り)

アーチェリー射場(100m×50mの芝生のグラウンド)

穴窯、作陶施設

草木染めかまど、用具一式

★維持会員募集中

竹早会の活動の趣旨に賛同して下さる方ならどなたでも入会できます

入会金… 20,000円
年会費… 3,000円

会員の方は、自主講座その他に割引料金でご優待いたします。
企画、運営に参加していただきます。

どなたでも参加できる — 自主講座 — 参加受付中!

6月8日～9日	荘先生 講演会と薬膳料理講習会
7月22日～26日	親子自然教室
8月16日～19日	草木染め講習会
11月1日～5日	穴窯窯焚き

詳しくは事務局へお問合せ下さい。 ☎03-3943-2415

脂肪とビタミンB₂

意外と知られていない関係です。

Elsal エーザイ

【効能・効果】
 ●次の諸症状の緩和：肌あれ、かぶれ、ただれ、にきび、湿疹、皮膚炎、口内炎、口角炎、口唇炎、舌炎、目の充血、目のかゆみ
 ●次の場合のビタミンB₂の補給：肉体的労時、妊娠・授乳期、病中病後の体力低下時

補酵素型ビタミンB₂主剤
チョコラBB
 70・140・250錠

Ad' Communication.

ACE
 ADVERTISING CO., LTD.
 株式会社エース企画

代表取締役 星 貢市 (昭和35年)

●東京都中央区銀座3-11-11銀座参番館IIビル7F ●〒104 ●TEL (03)3546-0741 ●FAX (03)3546-1449

歯科一般・矯正・小児

浅倉歯科医院

院長 浅倉利治 (昭和50年)

板橋区小豆沢3-10-3
 TEL (03) 3960-8241

昭和ビル歯科医院
 (健保取扱い) 京橋明治屋前
 院長 三輪 順一 (昭和43年)

診療時間 (月)~(金) 10:00~1:00 2:00~6:00
 〒104 東京都中央区京橋2-8-18 昭和ビルB-2
 TEL (03) 3561-0917

いつも、
ベストクオリティを求めて。

家庭電化製品 オーディオ ビジュアル コンピュータ

ワイドフロアー・ワイドセレクト

ヒロセムセン

〒101 東京都千代田区外神田 1-10-5 (あきはばら)
 ☎(03) 3255-2211 (大代表)

宮内たみこ (旧姓広瀬) 昭和18年卒業

最高であることによるこび **NITTO**

日東のハンドル
 吉川凱江 (昭和19年)
 〒116 東京都荒川区荒川4-41-2
 TEL 03-3802-4521 FAX 03-3891-0210
 (8,9,10のNITTO)

インテリア デザイン室

R. K. SCHAEFFER DESIGN

建築インテリアデザイナー JID
 金子 浩子 (昭和25年)

R・K・シェーファーデザイン
 〒107 東京都港区赤坂9丁目6-28 アルベルゴ乃木坂1203
 PHONE: 03-3479-0583 FAX: 3479-0859

求人広告のお申込みは

●advertising agency ●advertising creative ●printing
 新聞・雑誌広告申込所・宣伝企画立案・編集・印刷

NT 株式会社 ニットー

〒113 東京都文京区千駄木3-22-11-623
 TEL 03-3821-0210 FAX 03-3823-0064

角 掛 隆 (昭和33年)
 角 掛 昌 枝 (昭和33年) 旧姓 三部

薄刃、厚刃、丸刃、スクレーパー
 超硬刃、特殊刃物・設計 製作

ダイワ刃物工業株式会社

関 文隆 (昭和33年)

〒175 東京都板橋区徳丸1-28-17
 TEL 東京(03) 3550-3355
 FAX 3550-3519

平河総合法律事務所

弁護士 稲見友之 (昭和33年)

東京都千代田区平河町1丁目5番16号 アオキスタジオビル5F
電話 (03) 3261-1411(代)

専門体育教師による水泳・体育指導

個性を伸ばし、のびのびと明るい、元気な子を育てる

日進まこと幼稚園

(〒331) 大宮市日進町2-1048(丸広百貨店南隣り) ☎(048)663-0938

第二まこと幼稚園

(〒331) 大宮市日進町3-193(日進北小東隣り) ☎(048)664-1785

野尻国彦(昭和41年)

毎週木曜夜7時~9時、日進北小体育館でママさんバレーボールの練習をしています。お近くの方はどうぞご参加ください。

防水材・吹付材・シーリング材など建築仕上材の専門商社

 梓産業株式会社

代表取締役 松島 彰(昭和43年)

〒144 大田区西蒲田7-7-9 西蒲田ビル ☎(03) 3739-2669(代)

土木設計(橋梁・河川・道路・トンネル)

株式会社 光稜設計

代表取締役 堀内 徹(昭和37年)

〒171 東京都豊島区南池袋2-12-8 第三中野ビル5F

TEL (03)3987-7561 FAX (03)3989-0062



日本料理

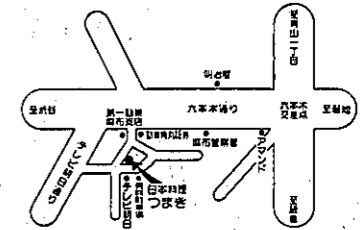
落ち着きあるモダンな和風インテリアの懐石料理のお店です。

皆様に喜んでいただけるサービスを、つねに心掛けております。

是非一度お出掛けください。

高女40回 経営者 鳩山安子

昼の部 午前11時30分~午後2時
昼の献立...900円~3,000円
夜の部 午後5時~午後11時
夜の献立...季会席料理
5,000円~15,000円
一品料理 500円より
(定休日...日曜・祭日)



地下鉄六本木駅(テレビ朝日側口)より3分

港区六本木6-3-8(六本木三須ビル2階) 電話 03(5474)5638~9

技術と英知で爽やかな明日を創る

空気調和・衛生設備消防施設工事・設計施工

 株式会社 泉屋五業所

代表取締役 橋場 強

東京都文京区春日2丁目13番4号 電話 03(3812)5261番(代表)
FAX 03(3812)8953番

横浜支店 横浜市西区浜松町12番21号 電話045(242)3564 FAX 045(242)2929
埼玉支店 浦和市別所1丁目2番5号 電話048(862)8003 FAX 048(865)1781
茨城支店 つくば市大字古米1468番地 電話0298(57)4531 FAX 0298(57)4006
工場 東京都文京区小日向4丁目6番3号 電話03(3941)1943

世界の一級品と安心のアフターサービス。

選りぬきの
ジュエリーを
世界から……。



お手持ちのジュエリーの サイズ直しや修理も承ります。

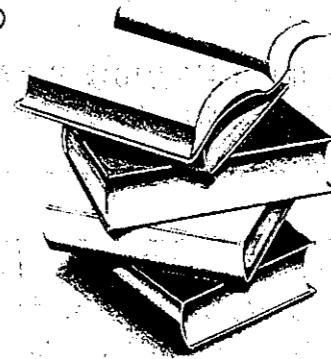
ジュエル  四季

東京都港区赤坂3丁目118番8号 赤坂フローラルプラザビル1F ☎03(3586)8850 (3587)0008



Yesです。

学ぶことによって、
個性が引き出され、
創造力と判断力が養成される。
そういう教育のありかたを
実現するために、
河合塾は文化性、情報性、
国際性を備えた
総合教育機関として、
つねに変革している。



Noです。

志望校に合格するための
知識だけを詰め込む。
一方的に受験のための
技術を教える。
そういう教育のありかたに、
河合塾は
ダメを出したい。

河合塾

〈幅広く教育事業を展開している河合塾です〉

- 大学受験科 ●高校グリーンコース ●中学グリーンコース
- ドルトンスクール ●国際教育センター ●美術研究所
- トライデントカレッジ ●河合文化教育研究所 ●河合出版

千駄谷校 03(3497)1581 駒場校 03(3465)3581 池袋校 03(3988)0581 立川校 0425(26)0581
横浜校 045(312)6581 松戸校 0473(63)7581 千葉校 0472(41)3581
東京・横浜・千葉・松戸・名古屋・豊橋・岐阜・津・京都・大阪・広島・福岡・北九州

JITSUYO GROUP

実用グループ(16社)

不動産売買、ビル・マンションの建築・管理から
スポーツクラブ、リゾート開発まで



JLINKS WELLNESS

御実用室
御実用不動産
御実用建設
御実用興業

御実用メンテナンス
御実用ファイナンス
御実用石油
御ライフサービス

テーマス電機御
アートサービス御
志村産業御
福三木材御

御アーチ
御総務サービス
御セイカ産業
御東和

本社 〒112 東京都文京区春日1-11-8 TEL 03-3811-3530 FAX 03-3811-5589

紙のご相談は

紙の総合商社
株式会社 深山

山

東京都台東区元浅草1丁目1-3

TEL 3842-1211(大代表)

HAKUSHU
ARTS

有限会社 博秀工芸 ●本社〒101東京都千代田区外神田6-9-8松尾ビル TEL.03-3836-3680 FAX.03-3834-4390 ●工場〒135東京都江東区千石3-1-33
パンフレット・カタログ・ポスター・リーフレットなどの企画製作からオフセット印刷・転写まで幅広くお応えするクリエイティブな会社です。(村瀬共栄(昭36年))